

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2025年 12月 20日 ~ 2026年 1月 10 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日 ~ 2026年 1月 10 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	講師の先生による「すまうた」「スマリズム」「サーティット」「フラダンス」の専門的プログラムを実施している。	利用児が無理なく参加できるよう、動作の難易度やテンポを調整しながら専門的なプログラムを実施している。	利用児の声や職員の気づきを取り入れながら、講師と連携しプログラムのさらなる充実を図っていく。 OTやPTの方と連携し、児の生活動作の向上を目的とした支援プログラムを実施する。
2	生活に即した動作を取り入れた自立支援を行い、日常生活動作の維持・向上を図っている。	立ったまま靴を履く、輪ゴムの使い方、リボン結び等、日常生活に直結した動作を取り入れ、自立につながる支援を行っている。	普段は意識されにくい動作を丁寧に拾い上げ、利用児が自立て行える日常生活動作の拡大と各動作の向上を図る。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活に即した良い取り組みを行っているが、支援内容の整理や振り返りが十分といえない。	良い取り組みを行っているが、整理・評価・共有が十分に行えていない点が要因となっている。	良い取り組みを継続・発展させられるよう、毎月1回支援会議とめいうち全体で共有する。
2	クールダウンできる専用の部屋の確保ができていない。	・イヤーマフを使用し、音刺激を軽減する工夫を行っている。 ・状況に応じてテラスへ移動するなど、落ち着ける環境づくりに配慮している。	限られたスペースの中でも、クールダウンが可能な場所や方法を検討していく。
3			